

【案件概要】

アガゴ県カロンゴ小学校における女子寮建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	カロンゴ小学校
供与額	75,470米ドル
署名者	ローズ・マリー・アカヨ(校長)
計画名	アガゴ県カロンゴ小学校における女子寮建設計画
実施地	アガゴ県(ウガンダ北部)
供与内容	女子寮1棟(588㎡:寮室8室, 寮母部屋1室, トイレ6基, シャワー室6室, 生徒200人及び寮母2人収容)の建設及び家具の整備
贈与契約署名日	2016年1月27日

ウガンダ北部アガゴ県に位置するカロンゴ小学校は1972年に政府支援小学校として設立され、現在、小学1年から7年までの生徒2406人(男子1,252人, 女子1,154人)及び校長を含む教員33人が在籍する同県最大の小学校です。同校は勉強以外にも音楽やダンスに力を注いでおり、教育・スポーツ省が主催する2014年の全国小学校「音楽・ダンス・演劇大会」で優勝しました。カロンゴ小学校では、紛争直後の2008年に、不安定な情勢の中で高まる学生寮設置の需要に応え、紛争中に仮設住宅として使用されていた建物を学生寮として改築し、現在女子生徒281人及び男子生徒216人の計497人を女子寮3棟及び男子寮3棟に受け入れています。これら既存の寮は、通常セメントを使用すべきところを土を利用してレンガを接合させたり、屋根には無数の穴が開いており、非常に脆く、老朽化が進んでいるため危険性が危惧されています。本計画では、新たな女子寮の建設及び家具の整備を行うことにより、女子生徒200人の健康的な生活・学習環境を確保します。

2. 贈与契約署名式

2016年1月27日、在ウガンダ日本国大使館において、藤田順三大使とローズ・マリー・アカヨ校長の間で贈与契約が署名されました。

プレスリリース(英語)

写真